

柏税務署長賞

私も誰かを助けたい

柏市立高柳中学校 第三学年 松山 心渚

私の家庭は三人兄妹の母子家庭。私はその中の末っ子です。私の母は毎日仕事で忙しいのに私たち三人に幸せな生活を送らせてくれます。夏休みには、海やプールにつれていってくれる、欲しい物を買ってくれる母には本当に感謝しかないです。けれど母子家庭の生活がどれだけ大変か、一人で三人育てるのにどれだけお金がかかるのか。そんなとき私には母子家庭も税金に助けてもらっていることを初めて知りました。

私はよく学校から封筒をもらったり、書類を出したりしていることを思い出しました。その中に入っている内容は「就学援助制度」というものでした。就学援助制度とは、学校給食費や学用品費の一部を援助してくれる制度です。私はこの制度があるおかげで、みんなと修学旅行に行くことができたり、みんなと同じ学校生活がおくれたり、楽しい毎日が過ごせていると知りました。今、私が幸せに過ごしているのは多くの方が払ってくださる税金のおかげです。私のように少しでも幸せな人生がおくれるのであれば、税金はとても大切だと思います。また、私は高校卒業まで医療費が無償です。怪我や病気で病院に行くとき、証明書を見せると医療費が無料になる制度です。私は小さい頃から歯医者にかよっています。その時病院や歯医者は「無料が当たり前だ」と思っていました。ですが、中学生になって友達が病院などはお金がかかると言われて一瞬戸惑いました。よくかんがえてみると、これも税金に助けてもらっていたと実感しました。私たちの身の回りには、税金で出来ているものがたくさんあります。例えば、学校で使う教科書、机、いすも税金で使われています。いつも当たり前に使っている教科書の裏には、「これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。」と書かれています。授業を受けられること、楽しく毎日過ごせるのは、税金を払っている国民に支えられているからだと思います。

「消費税反対」と言う方もいますが、私は消費税をふくめた税金に助けられています。また、私以外にも税金に助けてもらっている人はたくさんいます。今は助けを必要とせず、生活できている方も、将来必要となるかもしれません。なので、私はこの作文を通して税金の使い方をたくさんの方に知ってほしいと思いました。税金の使い道、負担を感じる方も多いですが、国民全員が幸せな生活を送るには、税金が必要不可欠です。私も将来、大人になったとき税金をしっかり納め、誰かの生活の支え、そして私の家庭のようなひとり親家庭の生活を助けてあげたいです。